平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	eビジネスマーケティング論(e-business marketing)			授業コード	E038801
担当教員名	泉 丙完			科目ナンバリングコード	E20301
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	教わるだけでなく、自ら考え新たなeビジネスを提案すること。				
受講心得	講義には必ず出席すること 講義では携帯・私語は厳禁、ただし、発表会では活発に討議に参加すること				
教科書	参考資料配布				
参考文献及び指定図書	ネット未来図 佐々木俊尚著(文春新書) グーグル～既存のビジネスを破壊する 佐々木俊尚著(文春新書) 「ネットの自由」vs著作権 福井建策(光文社新書) ウェブ時代をゆく 梅田望夫(ちくま新書)				
関連科目	マーケティング論、広告論、サービス・マーケティング論				

授業の目的	インターネットを中心としたIT革命がビジネスのみならず政治、経済、社会のあらゆる分野に大きな変革を起こしつつある中、自分たちが大きな時代の変わり目にいることを認識してもらう。その上でIT革命、特にインターネットが何を変えつつあるのかを、そのビジネスへの影響や新しいビジネスモデルなどについて具体的なケースに基づいて解説する。さらに、この数年ネット上でのWebの環境変化が著しく、いわゆる「Web 2.0」とよばれる新しい方向性がWeb上でビジネスを行う企業のサービスモデルやシステムそのものを大きく変えつつあり、これらの環境変化は企業のマーケティング活動に大きな変革をもたらしている。 この講義ではeコマースやフリービジネス、プラットフォーム、モバイルビジネスを中心に学び、演習形式により新たなeビジネスを提案するスキルを身につけることを目的とする。
授業の概要	eビジネスとはどういうことか、eビジネスが活発化した経済的背景、eビジネスの基盤としてのインターネットの動向、eビジネスの先頭を走る企業活動の事例などを学ぶ。さらに、これらの事例に基づき、新たなeビジネスを提案する演習を行う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : eビジネス概要① ビジネスとはそもそもどういうことか、eがつくことで何が変わるかを考える。	
第 2 週 : eビジネス概要② eビジネスが盛んになった背景や現状などeビジネス論の基礎を解説する。	
第 3 週 : eコマース① eコマースに関連する主要IT企業、EC市場の動向について解説する。	
第 4 週 : eコマース② eコマースに関連するコンテンツ配信、ショッピング、ゲームやオンライン決済の動向について解説する。	今後予想されるECサイト提案をグループで検討し、発表準備を行う。(1h)
第 5 週 : eコマース提案の検討 今後、予想されるECサイトをグループ別に提案する。	
第 6 週 : eコマース提案の発表	

提案したECサイトを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。	
第 7 週 ： フリービジネス① ネットビジネスのキーワードのひとつに、フリーのコンセプト及びフリー ビジネスについて学ぶ。	
第 8 週 ： フリービジネス② フリーのビジネスモデルをリードする日本、欧米の先端企業の事例について学ぶ。	今後予想されるフリービジネス提案をグループで検討し、発表準備を行う。（1h）
第 9 週 ： フリービジネス提案の検討 今後、予想されるフリービジネスをグループ別に提案する。	
第10週： フリービジネス提案の発表 提案したフリービジネスを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。	
第11週： プラットフォーム インターネットの普及により、顧客管理・セキュリティーのためビ ジネスとしてポテンシャルが大きくなってきた、「プラットフォーム」について考える。	
第12週： モバイルサービス① eビジネスを支えるモバイルの技術的動向やキャリアーの動向について学ぶ。	
第13週： モバイルサービス② eビジネスを創出するための、各種モバイルサービスの動向について学ぶ。	今後予想されるモバイルサービス提案をグループで検討し、発表準備を行う。（1h）
第14週： モバイルサービス提案の検討 今後、予想されるモバイルサービスをグループ別に提案する。	
第15週： モバイルサービス提案の発表 提案したモバイルサービスを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。	
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	インターネットの仕組みや機能の基本が説明できる。
【知識・理解】	インターネットがビジネスをどのように変えようとしているか説明できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	eビジネスの主要なプレイヤーの概要について説明できる。
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して新たなeビジネスの提案をイメージできる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	20点			
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			30点	
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。			30点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	3回の発表と最後の総合テストの総合評価による。また、出席状況・受講態度も考慮する。